
10人と1匹（猫とか）いる！

でんでろ3

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

10人と1匹（猫とか）いる！

【Nコード】

N6425S

【作者名】

でんでろ3

【あらすじ】

名作SF「11人いる！」の11人目が猫だったら、というお話です。

ここは宇宙ステーション。

もうすぐ、数々の厳しい試験を乗り越えて、この最終試験に挑む宇宙飛行士幹部候補生たちがやってくる。

「おっと、この部屋は重力あるのか」

「何だか久しぶりだな」

「…あれ、ちよつと待てよ。人数、増えてないか？」

「そうか？ 1、2、3、…、11。ああ、11人いる！」

「一体、いつの間に増えたんだ？」

「…なあ、11『人』か？」

「何、言つてんだ？ じゃあ、番号かけてみるぞ。番号っ！」

「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」「9」「10」

「にゃあ」

「ほら見る。11人いるだろ」

「…いや、お前は何も疑問に思わないのか？」

「何が、言いたいんだ？」

「…じゃあ、逆の順番で、番号かけてみないか？」

「いいだろう。番号っ！」

「10」「9」「8」「7」「6」「5」「4」「3」「2」「1」

「10」「11」

「…なんで、お前が2番なんだ？」

「つまらん事に、こだわる奴だなあ。しかも、1番でなくて2番か？」

「いや、そうじゃなく…」

「じゃあ、お前に2番をやるうじゃないか。番号っ！」

「1」「2」「3」「4」「5」「6」「にゃあ」「8」「9」「10」「11」

「はつきり言おう。こいつは猫だ」

「バカなことを言うな。宇宙センターに猫が居る訳ないだろう」

「いや、そんな固定観念に縛られず、現実を直視しろ。こいつ『にやあ』しか言っていないぞ」

「田舎から出てきたばかりで、なまりがきついんじゃないか？」

「そういう、レベルじゃないだろう？ だいたい毛むくじやら…」

「バカっ！ 本人が毛深いの気にしてたら、どうするんだ！」

「毛深いの遥かに通り越してんだろっ！ だいたい小さすぎ…」

「貴様という奴は、次々と人のコンプレックスを土足で踏みにじりおつて…。許さんぞ！」

「いや、だからさ」

「それに、あれだけ小さな身体で、この最終試験まで来たのだ。人並み外れた努力をして来たに違いない」

「じゃあ、あいつと会話してみろよ」

「まったく…。いいだろう。それで気が済むのなら…。…なあ、この服、俺に似合うかな？」

「にやう」

「『似合う』と言ったぞ」

「言つてねえし、お前の質問、不自然だろ？」

「分かった。じゃあ、今度は、あいつの英語力を試してやる。…英語で『近い』は何と言う？」

「にやー」

「ちゃんと、『near』と答えたぞ」

「お前、ワザとだろう。ワザとだと言え！ いや、言つて下さいと、お願いしちゃうよ、むしろ」

「強情な奴だなあ」

「そら、お前の方だ。…そうだ！ 見てろ。このマタタビを近付けると…。ほらっ、酔っ払ったみたいになった」

「信じられん！」

「なっ、これで分かったろ」

「何で、お前、マタビなんか持つてるんだ？」
「…そっちかよ」

(おしまい)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6425s/>

10人と1匹（猫とか）いる！

2011年10月8日17時53分発行